

密集市街地における子どもの街路空間の「好き嫌い」意識*

Likes - Dislikes of Streetscape by Children in Densely Built-Up Area*

寺内義典**

By Yoshinori TERAUCHI**

1. はじめに

少子化社会において、都市整備・街路整備を考える上で、子どもへの配慮は欠かせない。その配慮は、子どもの安全と、健全な育成への支援の両面からなされるべきであるが、街路については現段階では安全性にかたよって関心が集まっているように思われる。既往研究では、藤本ら¹⁾もあるが、子どもの視点を偏りなく広く把握するための基礎調査が必要であると考えられる。

この調査では、子どもたちがさまざまな街路に対して持つ感情について、好き嫌いの意識を中心にさぐることを目的としている。まず、6枚の街路の写真を用いて、子どもたちに好きな理由と嫌いな理由について、ヒアリングする。次に、その理由について、それぞれで整理し分類する。さらに、街路に対する好き嫌いの意識と街路の特徴との関係を把握する。

2. 調査の概要

(1) 地域概要

この調査は、東京都世田谷区の東部に位置する池尻小学校・三宿小学校・若林小学校の周辺で実施された。対象地域を図-1に示す。この地域は、東京区部西側の都市計画道路環状6号線（山手通り）から環状7号線（環7通り）の周辺であり、密集市街地が多く存在している。耕地整理や区画整理も実施されなかった市街地であり、街路網も整形されていない。その結果、地先道路の幅員は狭く曲がりくねった路地の様相を呈している。

(2) 調査方法

6枚の街路の写真を同時に見せ、一番好きな写真と一番嫌いな写真を選択してもらい、それぞれの理由をヒアリングする。自由文形式で得られた街路の好き・嫌いの理由について、集計のために整理・分類する。

*キーワード：イメージ分析、地区交通計画、子ども

**正員、工博、国士舘大学理工学部理工学科

(東京都世田谷区世田谷4丁目28-1、

TEL03-5481-3280, terauchi@kokushikan.ac.jp)

対象地域の街路について、220枚の写真を撮影した。撮影は、小学5年生の視点である約130cmに固定し撮影したものを用いる。ここから、幅員(広:16m以上、中:6m~16m、狭:6m以下)と、街路の特徴(形状および沿道条件)について、偏りのないように6



図-1 調査対象地域



▲中幅員 コンビニ前 ▲狭幅員 公園前
▲中幅員 商店街 ▲狭幅員 緑
▲中幅員 通学路 ▲狭幅員 階段
図-2 6枚の街路写真の例(三宿での調査)

枚の写真を抽出する。なお、形状は、歩道、階段、坂の有無である。沿道条件は学校、緑、店、公園の有無である。写真の例を図-2に示す。

この6枚の写真を貼ったパネルを被験者である子どもに見せ、好きな写真を一枚選択してもらう。そして、その選択理由を聞き取る。同じく、嫌いな写真を一枚選択してもらい、その理由を聞き取る。被験者は子どもであることから、一枚に選べない場合は複数の回答を得ることとする。また、街路の写真は校区の中で撮影されていることから、概知の場合が多い。よって、写真の情報だけに限定せず、思い出して回答してもよいこととした。

表-1 調査実施概要

	小学校区	調査会場	調査日
調査1	三宿	たぬきまつり	H19.10.20 (土)
調査2	若林	幕末維新祭	H19.10.27-28 (土日)
調査3	池尻	児童館まつり	H19.11.4 (日)

表-2 調査対象者

年齢	調査1		調査2		調査3		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
2		1	1	1			1	2	3
3			1				1		1
4			5				5		5
5	1		5		2		8		8
6	2		2	5	4	1	8	6	14
7		3	2	7	7	3	9	13	22
8	15	5	2	1	6	2	23	8	31
9	16	16	5	10	6	5	27	31	58
10	17	5		3	10	9	27	17	44
11	3	4	2	3	3	4	8	11	19
12		6		1				7	7
13				1				1	1
	54	40	25	32	38	24	117	96	213

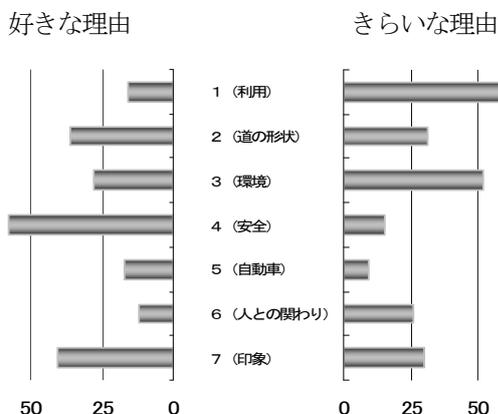


図-3 分類別の意見の数

(3) 調査の実施概要

このヒアリング調査は、対象地域内の3つの小学校(池尻小周辺・三宿小周辺・若林小学校)の児童および周辺に居住すると思われる児童を対象に実施した。調査日を表-1に示す。この調査は地域の祭事の協力を得て実施した。

3校区のそれぞれで街路の写真撮影し、6枚の写真を抽出した。ただし、三宿小の調査だけは、多くの被験者児童の協力を得ることができたことから、6枚の写真を2セットとした。

子どもたちに評価してもらった写真は、24枚の街路写真であった。被験者は、男子117人、女子96人、計213人であった。詳細を表-2に示す。

3. 好き・嫌いの理由の分類と意見の分布

213人から得られた232個の好きな理由を「①利用」、「②道路の形状」、「③環境」、「④安全」、「⑤自動車」、「⑥人との関わり」、「⑦印象」の7つの大分類に分けることができた。また大分類ごとに中分類、小分類を作成した。その結果を図-6に示す。216個の嫌いな理由も同様に7つの大分類に分け、さらに中分類、小分類を作成した。

中分類での意見の分布を表-3、4に示す。また、好きと嫌いの大分類別の理由の意見の数を図-3に示す。好きな理由は「①利用」や「③環境」が多いものの、嫌いな理由は「④安全」が多く、好きと嫌いの理由は異なることがわかった。

とくに、嫌いな理由として多かった「④安全」については、防犯上の懸念が多く挙げられた。その結果として、こうした密集市街地の魅力的な路地空間が、嫌いな道として指摘される結果となっている。

大人たちの犯罪への不安や対策への関心は、子どもたちを対象とした防犯教育(安全点検まちあるきなど)等の前向きな教育活動・地域活動として結実しており、その成果があらわれていると言える。しかし一方で、「街は危ない場所である、怖い場所である」として認知させてしまう懸念もある。街に対する幅広い視点・価値観と関心を養っていくような、まちづくりと地域活動が重要ではないだろうか。

4. 好き・嫌いの評価からみた街路の分類

好き・嫌いな街路に共通する特徴や幅員を見るために、24の街路ごとに好きと答えた人の指摘率を求めた。同様に嫌いと答えた人の指摘率も求め、それを縦軸・横軸に設定し図-4にプロットした。

その結果から、嫌いの割合の多い街路と好きの割合の

表-3 「好き」の理由の集計 (中分類)

データの個数 / No.			
グループ	大線	一点差線	集計
利用	施設が目的	学校が好き	14 *****
		その他の各意見	7 *****
		野球場が好き 幼稚園が好き	2**
	よく使う道	その他の各意見	14 *****
		お店が好き	10 *****
		その他	14 *****
1 集計			66
道の形状	使いやすい道	その他の各意見	9 *****
		広い道が好き 自転車で通りやすい	6 *****
	その他	その他の各意見	3***
		階段が好き	7*****
2 集計			31
環境	自然関係	緑が好き	22 *****
		木が好き	9 *****
		その他の各意見	4****
	その他	自然が好き	2**
		お店があるから好き	7*****
		その他の各意見	5****
3 集計			52
安全	その他	人がいるから安全	7*****
		街灯が明るくて安全	5*****
		学校の前だから安全	2**
4 集計			15
自動車	その他	車が少ない	6*****
		車が多い	3***
5 集計			9
人との関わり	にぎやかな場所	にぎやかな道が好き	17 *****
		人が多いから好き	4****
		その他の各意見	2**
	その他	人のやさしさが好き	2**
6 集計			26
印象	その他	理由なし	11 *****
		気持ちがいい	8*****
		行ってみたい道	7*****
		おもしろい道	4****
7 集計			30
全部嫌いだったため×			3
総計			232

大きく影響するものとして「階段」と「緑」がある。「階段」は全てが嫌いグループに属している。また「緑」は1つをのぞき「好きグループ」に属している。

街路の幅員別でプロットしたものを図-5に示す。その結果から「狭」の街路は嫌いの割合が多く、反対に「中」の街路は好きな割合が多く、「広」の街路はあまり関心が見られない。このことから幅員も好き・嫌いに影響することがわかる。

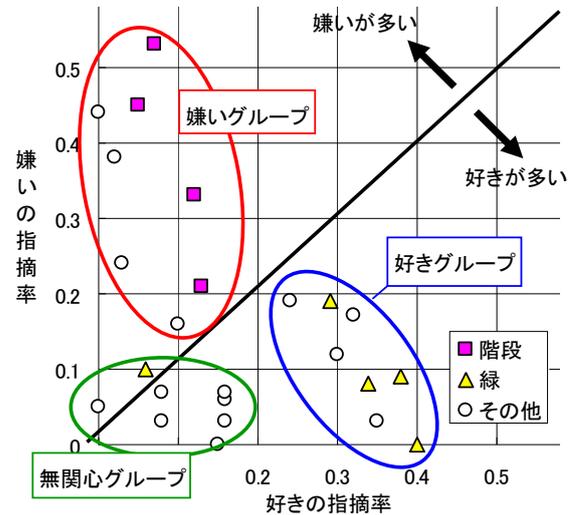


図-4 好き-嫌いからみた街路写真の分類

表-4 「嫌い」の理由の集計 (中分類)

データの個数 / No.			
グループ	大線	一点差線	集計
利用	その他	その他の各意見	4****
		見たことがないため	4****
		使わない道だから	3***
1 集計			11
道の形状	その他	狭い道が嫌い	18 *****
		その他の各意見	8*****
		階段が嫌い	8*****
2 集計			34
環境	におい空気	空気など、くさいから嫌い	4****
		くさいから嫌い	2**
	その他	汚いから嫌い	10 *****
		虫が嫌い 木が嫌い その他の各意見	5***** 4**** 3***
3 集計			28
安全	暗い	暗くて危ない	18 *****
		人がいなくて暗い	4****
	その他	その他の各意見	3***
		危険そうな道は嫌い 人通りが少なくて怖い 不審者が出そうで危ない その他の各意見	13 ***** 10 ***** 8***** 2**
4 集計			58
自動車	その他	車が危険	16 *****
		その他の各意見	1*
5 集計			17
人との関わり	その他	その他の各意見	12 *****
		その他の各意見	12 *****
6 集計			12
印象	音の大きさ	うるさくて嫌いな道	10 *****
		静かで怖い道	4****
	その他	理由なし	13 *****
		その他の各意見	10 *****
7 集計			41
全部好きだったため×			15
総計			216

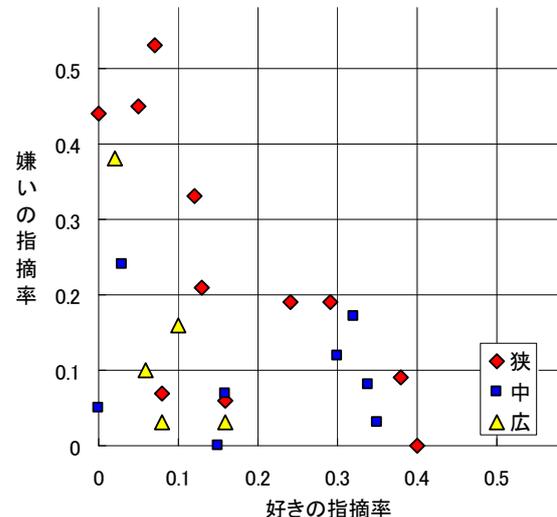


図-5 みちの幅員別散布図

5. おわりに

好き・嫌いの理由を7つの大分類と、中分類、小分類に分けることができた。この分類は、今後の同様の調査を実施する際に、選択肢の作成等に有用である。

また、好き・嫌いの理由が異なることから、危険要因

多い街路、どちらも少ない街路の3グループに分類し、それぞれ「嫌いグループ」「好きグループ」「無関心グループ」とした。街路の特徴の中でも、好き・嫌いに大

